

校長室だより

No. 18

平成30年9月3日(月)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよしかず
加藤嘉一

二学期始めにあたって

わたしの気のせいかもしれませんが、例年8月末に聞くツクツクボウシの声
がわずかのように感じます。8月30日(木)の岡崎市の最高気温は、34.3度。
先週一週間の最高気温が33度を下回った日はありませんでした。(参考：気象
庁ホームページより)。「秋を告げるセミ」とよく言われるツクツクボウシが、
「まだ夏ですよ」と態度で示しているのかもしれませんが。一方で、夜、鈴虫の
鳴き声は聞こえるようになりました。わたしの心の中では、「もう暑さはこり
ごり。早く涼しくなってほしい。」という願いと「ちゃんと、秋はすぐそこまで
来ている。」と心を前向きにする自己暗示とが同居しています。新学期は、本日
より始まりました。子供たちの健康を案じています。

二学期を始めるにあたり、子供たちに願うことは「具体的に動くことに力を
注ぐ」ということです。よく言われる通り、二学期は過ごしやすい時期であり、
勉強も運動も活動しやすい季節になります。今夏は、異常気象に対してわたし
たちはどう対処したらよいかを考えさせ、熱中症対策、活動の制限、制度の
見直しなど、行動させた年でした。子供たちも、この先生きていく中で、変化



に対峙しなければならぬことが多くあるでしょう。

「考え」、「行動」し、「振り返り」、「次の手を考える」
力が必要です。子供たちでも、「暑い」と言っている
だけの人でいるのではなく、将来は、持続可能な社会の
担い手として社会で力を発揮してほしいです。

そうした一歩は、1年生であっても「〇〇をしたい」「〇〇ができるようになり
たい」を芽生えさせ、活動を支援し、うまくいかなくても次があることを自覚
させ、次はどうしようかを考えさせることだと思っています。例えば、二学期
にある保育園との交流会においても、算数の計算においても、学芸会・マラソン
大会においてもです。やってみて、今年の結果が思うようなものにならなくて
も、次があるさ、次はどうしようかでいいのです。(安全面は十分注意して)

人間が「考え」「行動」することを考えさせられた夏でした。このことを教育
の場、学期始めにあたり意味を見つけてみました。年度初めに、今年重点是
「振り返り」であると伝えました。この「振り返り」が意味深いものになるた
めの「行動」をがんばってほしい、二学期を始めるにあたってのわたしの願ひ
です。

フェンス一新・防災トイレ完成

夏休み後半に、本校では工事が2つありました。

1つは、体育館駐車場前のフェンスを新しくする工事でした。これは、昨年校務主任だった稲垣先生が市教委にお願いし、それを引き継いだ鈴木先生が段取りをし、実現したものです。これまであったフェンスは移動式のものだったのですが、ずいぶん前から使っていたので砂が溜まり、足の部分が埋まって固定式のようになっていました。おまけに、ネットがたわんでしまっただけでなく、ネットの砂に近い部分は錆びて切れてしまい、穴が開いたような状態でした。それが、ピカピカの新品で固定式のフェンスをつけてもらうことができました。ぜひ、大切に使用してもらいたいと思います。そのために、以下のことを注意点にします。

【フェンスの注意】

このフェンスは、野球などのためのバックネットではありません。

サッカーやソフトボール、フットベースボール等をやっていて、ボールが飛んでいき当たってしまうのは仕方ありませんが、自分からフェンスに向かってボールをぶつけて練習をしないようにしましょう。



【駐車場前の新フェンス】



【災害用トイレ（左：和式 右テント洋式）】

もう一つは、災害トイレの設置です。体育館トイレの前に並ぶ駐車スペースを利用して、災害用臨時トイレが6つ新設されました。この工事のため、地面を掘り、外の道路下にある下水とつなぐ下水管を埋める作業をしていました。そして、簡易トイレと下水をつなぐ土管を縦に埋め、鉄のふたが最後に設置されました。写真にあるようなテントや便器は、防災倉庫に常備します。

今後も普段は駐車場です。子供たちにも、どこかでこのトイレを見せたいと思います。使うことがなく済みますように。